

## ●'90年代の神戸文化を考える



# 文化的に根付く活動を

池上 忠治

□神戸大学文学部教授

東京大学文学部卒、同大学修士課程修了、S 38 / S 41主にフランス美術を学ぶためパリ大学へ。S 43より神戸大学に。氏による著書、訳書多数。

——神戸を含めた県下の美術館・博物館の現状についてどう思われますか。

神戸も含めて県下の美術館や博物館は、他の大都市と比べても、量、質ともに平均的レベルにあると思うんです。しかし、それ以上のものがないですね。やはり、他にはない、何か特色を出す必要があると思います。新しい施設も必要ですが、現在、保有する美術品等を、現存する施設を使って、どう有効に活用するかを考えてもらいたい。例えば、南蛮美術のような神戸が誇るコレクションがあるのに、それを陳列するスペースが足りないですね。そういった神戸特有のものを充実させる方向で抜群のインパクトを与える意味でも、神戸の文化的な特徴をアピールしてもらいたいと思います。それから、民間の博物館が阪神間にいくつもありますね。そんなところも、開館時間や開期を延長したりして、もっと積極的に

文化活動を行ってほしいですね。

——神戸の建築物についてどう思われますか。

古い建築物の保存運動が盛んに行われていますね。古くても機能的に重要で、必要な建築物を保存するのはいいと思います。持ち主や権利の問題がありますが、一方で外観上も悪く、不便な建物は壊す必要もあると思うんです。例えば、市内の建築物のベスト10、同時にワースト10も選び、街の美観上、良い建物、良くてもその場所には無くてもいい建物、街のバランスから見ても必要ではない建物を見極めた上で、改めて街の美観、バランスを考える必要があると思いますね。そして、それぞれの建物が、どれだけ有効に機能しているかを環境問題とからめて考え直す必要がありますね。

——現在ある施設に、これからどういうことを望みますか。また、新設するならどのような施設を望めますか。

やはり、各美術館・博物館の開館時間を延長してもらいたいですね。それから、これは日本全域に言えることですが、例えば、神戸の文化ホール等の施設ではお酒は飲めませんよね。しかし、パリのオペラ座では、幕あいの時間にバーで一杯飲めますし、向こうでは、そういった施設は市民の一種の社交場になっているんですよ。日本でも、もう少し柔軟に対応された、サービス向上のためのソフトがあってもいいと思います。新設ということになると、写真やカメラのコレクションを保存した博物館が欲しいですね。100年以上の歴史があるのに、そういった博物館が東京だけにしかないのはおかしいと思います。そして、邦画、洋画に問わず、映像分野でのライブラリーのような発展性のある施設も。アイデアはあっても現実には無いんですよ。神戸は映画発祥の地ですから関連深いですし、ぜひ、つくってもらいたいですね。

美術館・博物館共に、現在あるものをより充実させ、神戸に見に来てもらうための特色づくりが重要です。そして、文化的に根付いていく活動をして頂きたいですね。

## ● '90年代の神戸文化を考える



# 九〇年代の 神戸への提言

野田 正彰

神戸市外国語大学教授  
国際関係学科

都市精神医学者、文化人類学者。  
一九四四（昭和十九）年、高知県生  
まれ。北海道大学医学部卒。著書に  
『日本カネ意識論』『狂気の起源をも  
とめて』等がある。

——一九九〇年代のキーワードは「文化」だと言われま  
すが、どのようにお考えですか。

七〇年代の経済は工業化の経済であったのに対して、  
八、九〇年代の情報化、サービス化経済へとシフトする  
中で、地域の個性をネットワーク化することにより、文  
化の問題がクローズアップされるとは思いますが、本当  
の意味での見直しは有り得ないと思います。むしろ金融  
を中心とするサービスの肥大化の中で政治の意味が問わ  
れ直すのではないのでしょうか。つまり、政策をもって何  
をしているかが問われるわけです。この政治・経済の関  
わりの中で、文化の問題が出てくると思います。

かつては、資源の確保、安保体制のための政治でした  
が、これを超えて固有の文化をいかに保持するかを考慮  
した上で、政治・経済の問題に取り組みないと軽蔑され  
る時代にきていますから。

——神戸における都市文化の創造、特に若者文化につい  
てどう思われますか。

外大にきて三年になりますが、神戸では、あまり都市  
文化が見えてきませんね。各分野を異にする面白い人達  
が、なんとなく集まり合える場、機会が多くないですね。  
京都が多いんですよ。神戸は学園都市にしてみても、た  
だ一ヶ所に大学を集めただけで、学生が気の毒ですね。  
つまり場ありませんし、下宿するところもありません。  
それを解決するために、市や大学がもっと柔軟になっ  
て、学生に様々なチャンスを与えてやればいいんですよ。  
インターカレッジで集まり合えるような場を、市が働き  
かけて提供すべきですね。例えば、市の企画を学生達に  
たてさせたり、広報を担当させるのもいいでしょう。そ  
の企画を採用するかどうかは、市の自由なんですから。  
——地域の活性化と文化、文化と経済の関係において、  
文化がないとメシが食えない時代だと言われますが、ど  
のようにお考えでしょうか。

京阪神の文化は上方文化といわれていたのだから、こ  
の三都市で独自性を持って、関西を構成していくべきで  
す。他都市と違うものをするというふうに、よそが名乗  
りをあげたものは、意地でもしないという気持ちが必要  
ですね。それから、関西は出版文化と関係が弱いから、  
東京に行かざるを得ない状況がありますが、行政や産業  
界が関西の人達を紹介すること等で、関西のメディアを  
もっと大事にする必要があります。行政が提供する劇場  
もありませんよね。行政が文化へ補助金を使うことによ  
って、市民にとけこまねばなりませんよ。例えば、市民  
参加型の祭りの場合、楽しむ雰囲気感染していくこと  
が必要だと思います。結局、みんなで何かをやったとい  
う気持ちを持たせなければ、神戸に残りたいという学生  
もいなくなるでしょう。そのためには行政は金をつぎこ  
むべきですよ。若者を神戸に残らせることは、神戸市の  
責任なんですから。



## ● '90年代の神戸文化を考える



# 人間の臭いの する街を

小笠原 暁

□ 芦屋大学教授

名古屋大学理学部数学科卒、同大学  
経済学部経済学科卒、神戸商大教授  
を経て、S47兵庫県企業部長、S50  
兵庫県教育長、S53兵庫県副知事  
S59より芦屋大学に

— '90年代に入り、神戸は国際都市としてどのように機能するのでしょうか。

開港以来、外国の人たちを温かく迎え入れ、外国の文化と共存できる基盤を神戸はもっています。国際化時代に入って、交通が便利になり、情報通信網が発達して、映像や音声で直接、外国とやりとりできるようになり、益々、神戸が今まで培ってきた国際的な文化が日本の中で大きな力を発揮する時代がやってくると思うんです。例えば、六甲アイランドにできるファッション・マートは、非常にいい構想だと思いますね。今までの日本の国際化においては出（輸出）が多かったのですが、これからの日本を考えると入（輸入）の国際化が必要になってきます。そういう意味で、マートができると諸外国からいろんな物が入ってきますし、それと共に人（バイヤー）もやって来る。丁度、100年前に神戸が経験したこと

が、もう一度新しいサイクルで、しかも世界に開かれた形で始まるわけです。ファッションに限らず、関西では主要都市である大阪、京都、神戸が、それぞれ違った特徴をもち、競い合いながら、互いに足りないところを補いあって地域を形成している。言ってみれば関西は、ヨーロッパのECのような地域ですね。その中で世界に開かれた神戸っ子気質を、益々、鮮明に活かしながらどこの国に対してもフレンドリーに接すれば、理想的な国際都市神戸ができると思いますよ。

— 今、神戸にどのような施設や工夫が必要だと思われますか。

演劇やコンサートをはじめとした良質のパフォーマンスを楽しむためには、大阪や東京へ出ていくしかないのが現状です。文化面で、逆に大阪や東京から、神戸へ人々をひきつけるような街にしないと。まず、そのためのアミューズメント施設が必要ですね。それから、国際都市と呼ばれる以上、街の中に英語標示を増やして欲しいですね。これからライフスタイルが変化し、食・遊・住の混在する時代がやってきますから、もっと人間と人間とがふれあえるための施設を作ったり色々な工夫をしなければなりません。

— 都市ホスピタリティが必要になってくるんですね。

そして、神戸が発展するためには、魅力をたくさんつくらないといけない。アフター5に奥さんや同僚とで、神戸へくりだそうと言ってもらえるように。勿論、デイトタイムも活力のある街にね。そのためには企業が、がんばらないといけないんだけど。例えば、ファッショントウンの建物は、全で一階がガランとしていて、人気がないのですから、寒々とした感じがしますよね。ギャラリーを作ったりして、人間の臭いをさせてほしいです。いろんなレギュレーションをあらためながら、街の文化を育てていくことは重要なことだと思いますね。もっとも楽しい街づくりを神戸には望みます。

## ● '90年代の神戸文化を考える



# 文化人が集まり、住む街に

辻田 忠弘

□ 甲南大学理学部  
経営理学科教授

甲南大学理学部卒、南カリフォルニア大学大学院経営学部卒、大阪大学微生物病研究所講師、中国福建省福州大学客員教授。

「神戸っ子のこうべ考」という講義をされるきっかけ、またその後の反響をお教え下さい。

甲南大学に入ったからには、自分の学校のある街「神戸」を知ることが有意義なことだと思うんです。世間一般の文化論とは違った「こうべぶんか」を学生達に教えることができたらと思います、昨年4月に「神戸っ子のこうべ考」を開講することになりました。

「神戸っ子」として神戸の第一線で活躍しておられる伊藤ハム惣社長・伊藤研一氏、上島珈琲惣社長・上島達司氏、生田神社宮司・神戸女子大学教授加藤隆久氏、神戸地下街惣社長・長島隆氏、サンテレビディレクター・村上和子氏をはじめとする21名の人達を講師として招き、始まった講義に申し込み数は570名、常時200〜300名が聴講しており、学生達の熱心な姿勢が伝わってきました。

国際的でスマートで、どことなくきどったところがあ

る反面、港街としての泥くささと郷愁をさそう神戸。また海もあり山もあり、四季のはっきりした神戸。そんな魅力のあふれる「神戸」のような人間に、学生達になってもraitたいと考えているんです。

今後の展望などをお聞かせ下さい。

伝統文化を守る大切さもありますが、その他に、常に文化を造り出すことも必要だと思っんです。時代がどんな変化していきますからね。今回の講座にしても、神戸で新しい文化が生まれ、育つためのきっかけになると思っています。様々な分野で活躍されている方々に集まっていただき、多くの意見を交換することによって、どんなでもない発想が生まれ、そして新しい文化の発展につながると思っんです。そこで、できれば「神戸っ子のこうべ考」を市民大学のようなスタイルで、三の宮等の神戸の中心地で広く市民に聴講してもらえれば欲しいですね。そして、世間も変化していきますから、テーマもそれに合わせて内容を変化させていってもいいのではないかと思っています。

地域学への提唱をお願いします。

神戸の場合、観光客のための文化に力が入りすぎて、住人のための文化が案外、重要視されていない面がありますね。ファッション都市宣言やウオーターフロント計画をはじめ、最近ではジャズフェスティバル等、文化行政が進んでいる反面、実際に住んでいる神戸っ子に対する文化も見直してもらいたいですね。

それからもう一つ、神戸が芸術文化の街と唱うのなら、プロを大事にしてもraitたいですね。素人が活動する市民教室はあっても、若いプロを養い、活動させる場や、優遇する措置がないですね。芸術家に限らず、文化人が集まり、住む街になれば、それが神戸のパワーになり、大きな文化の発展につながると思います。神戸に住みたいという優秀な人材が集まり、住みよい街になれば、その人を使うために企業が集中してきますし、神戸の繁栄につながると思いますよ。



## ●'90年代の神戸文化を考える



# 建築に 神戸らしさを

水谷 顕介

□都市計画家・建築家

一九三五（昭和一〇）年、東京生まれ。阪神間育ち。神戸大学工学部建築学科を経て、大阪市立大学大学院修士課程修了。代表的な地区計画、設計に「神戸ポートアイランド」基本設計がある。現在、神戸大学講師。

——ウォーターフロント計画をどのようにお考えですか。  
ウォーターフロントというのは、内陸地じゃない限り、海に面している地域すべてにあります。どこに行ってもあるということは、その街にとって特有のものは何かという点と、今まで置かれてきた状況を踏まえて計画を進めないと、どの街も同じになってしまいます。

神戸の都市発展の過程には、居留地があって、それを大事にしなければなりません。居留地をつぶして、その次にプラスになるものができるかというと、そうは簡単にはいかないと思います。そのことをみんなが知る必要があります。神戸の居留地は他都市に比べても、骨格がしっかりしてますから、きちんとできますね。今から五年もこのままほっておくと、再生不能でもうダメになるんじゃないかな。

——神戸のグランドデザインをどのようにお考えですか。  
街のデザインをうまくまとめているところは、手法がかなりはっきりしていて、基層的には材料、素材の取扱いはなんですね。神戸の場合は、赤い瓦屋根が一番わかりやすいし、やりやすいと思います。元々、赤い瓦屋根は日本のものじゃないですけど、神戸は京都と違ってコロニアルですから、一番共通のベースになりうると思えます。例えば、神戸大と関学、女学院のキャンパスを比べても、関学、女学院がまとまりがいいということになるでしょう。そういうコンセンサスで建築をして、誰かがどうしても困るのだったら同意できるんじゃないかと思うんです。それと色々な適地にいい公共建築をつくって、周囲の町づくりの核にしていこうとします。

——街のたたずまいへの提言をお願いします。

芸術家ばかりを集めて住まわせる場所を、行政が提供し、芸術工房のようなものを造れば、という意見もありますし、世界の国々には、そういう場所があるわけですが、神戸では運営が無理じゃないでしょうか。神戸人はシャイだから、みんなが集まってしつかりやりつづけるというのは。行政が芸術家を招いて優先的に市内に住まわせる伊丹市のような例もいかもしれませんけど、それよりも、市民の側から神戸の町のあちこちに面白い場所、新天地のようなものを発見することが先決だと思います。芸術家を住まわせるのであれば、一カ所に集めるのではなく、地域ごとに色どりをそえて、色々ある方がいいのではないのでしょうか。そうすることによって、建築物ももちろん、場所特有の特性を活かすということが可能になると思います。

ところで、最近の建築を見ると、どれも流行だけを追っていて、すぐあきてしまつて面白くありませんよね。ウォーターフロントの話でも触れましたけど、結局、神戸らしい個性を長く創造しつづける精神と姿勢が大事だと思います。

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作  
神戸市中央区港島中町 6-3-2  
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役会長 川上 勉  
神戸市中央区港島中町 6丁目 5-1  
TEL (078) 303-3311



キャンペーン「神戸の観光と魅力を探る」の  
企画は以上各社の提供によるものです。

●特集

# WFF in KOBE

美感遊創の祭典/PLAY BACK

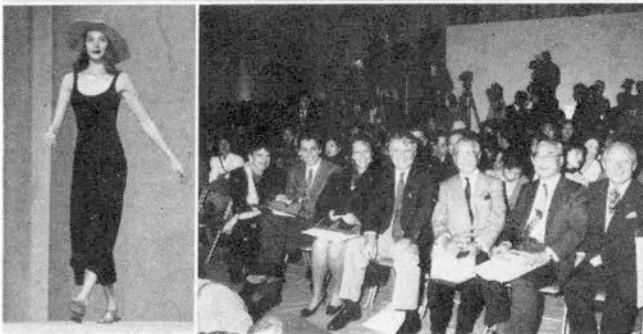
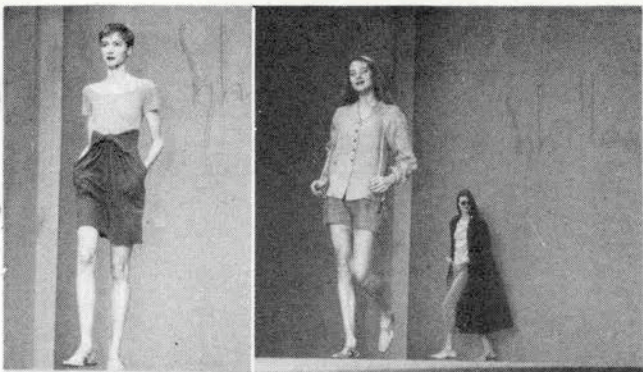
## ①スペインからファッションの風

神戸ファッションフェスティバルのテーマは「スペイン」。その中に呼びものは、25歳の若手女性デザイナー「シビラ」のショーが11月19日にアシックスで、20日はホテルオークラで日本初のフルコレクション「ロエベ」のショー。スペインのハートが神戸に。



# 自然な優しさシビラ 非凡なドレス・ロエベ

藤本ハルミ△KFM会長V



上はアシックスで開かれた「シビラ」のショー-左上はシビラのショーと  
ホテルオークラで開かれたロエベのショー風景

前売りのチケットが飛ぶように売れたというだけあって、アシックスアトリウムの会場は立見のでる満員の盛況、スペインの新星シビラサウンドで神戸ワールドフェア一の幕は切っておとされた。女性性のすんなりと伸びた姿を素直に見せ拘束や誇張のない自然なデザインは、草木染のような中間色でよいその優しさと甘さと清潔さを強調しているように思われ、女性デザイナーならではの好ましい感覚を感じた。ホテルオークラのエンリケロエベのショーは、さすが王室御用達と思われる風格で当製品のカジュアルっぽいものからドレスシーなものまで幅広い展開を見せてくれた。

アカデミックで一見さりげないドレスも、その素材、色のバランス、シルエットに一分の狂いもなく予想以上に非常に非凡なドレス群であったシビラは若さゆえこれからの発表が待たれ、ロエベ氏は一四〇年の伝統を持つ服創りの先達として素直に勉げたいと思った。







●特集

# WFF in KOBE

美惑遊創の祭典/PLAY BACK

## ②神戸ファッションタウン 街びらき

きらめく星のような高感度企業が  
集まり、最新のライフスタイルを神  
戸から全国に向けて情報発信するト  
レンディゾーン「神戸ファッション  
タウン」が遂に完成し、オープニ  
ングイベント「FLOATATION'89」  
が11月17～19日の3日間開催された。



# FLOATATION'89 ドラマチックに開催！



ポートピア'81神戸博覧会の会場跡地13.5ヘクタールに建設が進められてきた「神戸ファッションタウン」。企業誘致から8年、感性に満ちた街が遂に完成した。

神戸ファッションタウンのある  
ポートアイランドは、海上に浮か  
ぶ人工の島。浮遊を意味する「F  
LOATATION'89」はそんな  
島が世界に通じるファッションブ  
ルな都市に浮かびあがるよう、願  
いをこめて名付けられた。前夜祭  
となるファッションパーティー、  
タウン完成の記念セレモニー、タ  
ウン全城を音と光で演出する光の  
FLOATATION'89に加え、  
タウン内企業各社のPRイベント  
などが華やかに繰り広げられた。

十七日(金)の前夜祭「神戸ファ  
ッションパーティー」は一九三〇  
年代の古き良きアメリカを再現。  
スウィングジャズの演奏をバック  
に、男女合わせて千八百人のファ  
ッション大好き人間が集まり、チ  
ヤールストンの競演やディスコに  
興じ、街びらきの雰囲気の大いに  
盛りあげた。

翌十八日(土)はいよいよ神戸フ  
アッションタウンの完成記念日。  
セレモニーは、午前10時、市民  
広場に鐘の音が鳴り響き、タウン  
内企業(三十八社)の女性社員代  
表二十人が風船を持って入場。続  
いて鬼塚喜八郎KFT理事長(株  
アシックス社長)が力強くファッ  
ションタウンの完成、街びらきを  
宣言、テープカットの後、今後の  
飛躍を願って秋空に向けて風船を  
一斉に放った。



左上／タウン全体がスペクタクル劇場になった「光のFLOATION '89」。左下／神戸ファッションタウン完成に尽力した関係者の喜びもひとしお。上／男と女の第二章」をテーマに各企業がユニークなイベントを展開した、フロアテーションウォーク38。（上段左から、アシックス、風月堂、オールスタイル、大月真珠、モロゾフ、下段左からT.O.A、ワールド、ジャバ、カワノ、シャルレの各イベントの様子）

中、にぎわいと熱気に包まれた。

こうして人工の「宝島」は一日

「光のFLOATION '89」は、大型のサーチライトやカラフルなレーザー光線を使ってタウン上空に光のピラミッドを作ったほか、最新鋭のシンセサイザーを使ったライブが行なわれるなど、ファッションタウンがスペクタクル劇場と化した。

その夜は、タウン全体を音と光で彩るライブイベント「光のFLOATION '89」。大型のサーチライトやカラフルなレーザー光線を使ってタウン上空に光のピラミッドを作ったほか、最新鋭のシンセサイザーを使ったライブが行なわれるなど、ファッションタウンがスペクタクル劇場と化した。

当日は、街全体もお祭り気分。タウン内企業三十八社が「フロアテーションウォーク38」と銘打って、ユニークなイベントを開催した。個性的で、オシャレな雰囲気、個性で、オシャレな雰囲気の漂う自社ビルを開放し、ロビーやガーデンスペースでコンサートや展覧会などを行い、詰めかけた約三万人の市民を楽しませた。

「日本は今、経済大国と呼ばれていますが、今後は文化大国と呼ばれる必要があると思います。センスのある、美しい文化の創造をこの街から行ってゆきたいのです」と感想をのべた。

「日本は今、経済大国と呼ばれていますが、今後は文化大国と呼ばれる必要があると思います。センスのある、美しい文化の創造をこの街から行ってゆきたいのです」と感想をのべた。

完成にあたり、鬼塚会長は、「言葉が出ないほど感無量です。このファッションタウンをいずれはニューヨーク、パリ、ミラノなどに匹敵するような街にしてゆきたいですね」と語り、オールスタイルの川上勉会長は、



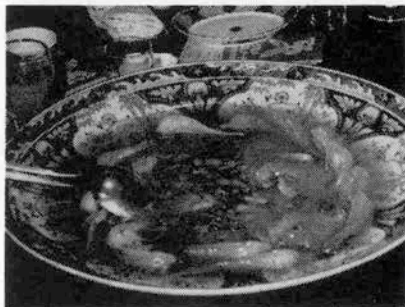
●特集

# WFF in KOBE

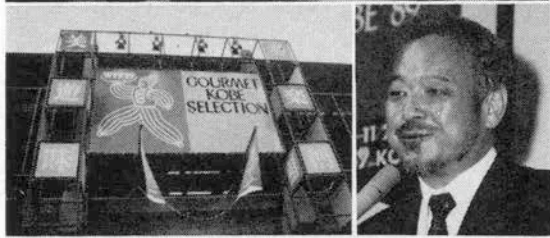
美感遊創の祭典/PLAY BACK

## ③ グルメディアKOBE '89

食は情報である。その情報を正しく評価し発信するのはわれわれ市民である。多様化するライフスタイルの中で「食」の文化はとみに光彩を増してきた。グルメディアの開催を機に「グルメシティ宣言」をし、神戸の21世紀への指針を示した。



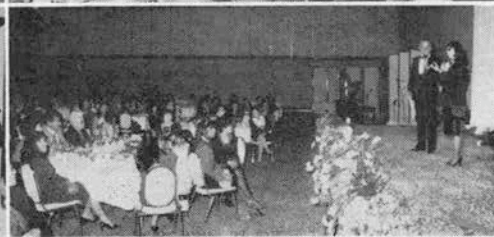
## 「食は情報である」をテーマに グルメシティ宣言も



グルメシンポジウムは「変容する食文化」について探究した。(上)  
(下)グルメセレクションは大人気。

ワールドファッションフェアの中でも神戸らしい特色を放ったのがグルメディア'89の「食」を切り口とした様々なイベントであった。「食は情報である」とのコンセプトのもと、グルメシンポジウム、グルメセレクション、グルメプロムナード&グルメパーティーの三本柱で構成され、生活のスタイルとしての食文化がある町神戸らしい「食」にかかわる本物の質の高い情報を提供し、その評判をつくりだす優れた市民が多数住んでいる」イベントとして来年度以降も継続して実施されることになった。

11月16日に行なわれたグルメシンポジウムでは「変容する食文化」と題し石毛直道国立民族学博物館教授が基調講演。「外食産業では20カ国の料理店があり、日本一食品産業が盛んな都市である。それを支える個々のブランド名の他に神戸という都市の名、灘という地名が大きな意味を持つブランド名になっている。情報化時代の食を考えた時、グルメ都市としての実力を持つ神戸が世界への発信基地となるべきで、そのためには人材育成のためにも博物館や大学など研究・教育機関が必要である。」と語り、続いて行なわれた中内力、松宮隆男、村上和子氏とのトークセッションで次のようなグルメシティ宣言が発表された。



グルメパーティでは大内順子さんのファッショントークや日本を代表する小野正吉料理長のコースが。  
グルメプロムナードは31店の店に素晴らしいゲストが登場。

「神戸グルメ・フェアは、食に関連する企業が力を結集し、神戸・兵庫の食及び食文化に関する情報を全国に発信するとともに、業界並びに地域の振興に寄与することを目的に開催しました。」

神戸の食に関連する企業が今日まで発展してきたのは、各企業の研鑽・努力とともに、恵まれた風土や神戸の食を正當に評価し、育ててきた賢明な消費者・市民・開放された明るい街として外来の人々を温かく迎え入れる市民性があればこそであり、このことを忘れてはなりません。

未来へ向け神戸のグルメがより一層飛躍していくには、メーカー・レストラン等のつくり手とお客様、消費者とが互いに切磋琢磨し神戸の新たな食文化を創造し、情報として常に発信していくよう努めなければなりません。また、街づくりにおいてもホテル・レストラン大学の設立など食に関連する人材を育成・顕彰し、食品専門展示場の建設を進め、世界的な食イベントの開催・定着をはかるとともに、お客様を温かくもてなすホスピタリティを高める等積極的に振興することが必要であります。

神戸グルメフェアの開催を機にこれらを推進していくため「グルメシティ神戸」を宣言し、官民一体となって神戸の食文化を発展さ





グルメブロードの真髄はお店の自慢料理。参加者は美味との出会いに大満足。

せていくよう提唱します。」

おいしい神戸をめしあがれのフ  
レーズにびったりのグルメブロード  
ナード&パーティーは11月17日〜26  
日に亘ってくり広げられた。(ル  
ー・サロメのみゲストの都合で11  
日に開催)。31店の味に評判のレ  
ストラン、料亭に延べ33名のゲス  
トを招いての食談会は「待つ」を  
テーマにした新井満氏の話(ルー  
・サロメ)、生涯学習について語  
る木村治美氏(UCCコーヒー博  
物館・桃花春)神戸との関わりを  
語る横山ノック氏(鼎々)などバ  
ラエティに富んだ内容であった。

グルメの明日を支える神戸物語  
が提案されたのが21日〜23日にサ  
ンボールホールで開かれたグルメK  
OBEセレクション。フレッシュ  
メッセージ、デリシャストビツク  
ス、エレガンスウエーブ、グルメ  
アンテナの4つのテーマで伝統の  
味と高級デリカなどの展示即売が  
行なわれた。中でも人気はクリス  
マスケーキデコレーション教室や  
パエジャのコーナー。試食ができ  
るブーイスには長い列ができたの  
は言うまでもない。

グルメディア'89全体で3790  
0人もの参加があった通り、食に  
関心を持つ人は数知れない。グル  
メ都市宣言が定着する日も近いと  
確信できたイベントであった。

●90年はコミュニケーション時代、

■チャリティ■

## 月刊神戸っ子・神戸っ子倶楽部新年会 第14回 神戸文学賞受賞式

あけましておめでとうございます。

さて、90年代を迎えいよいよ「神戸時代」の到来を予感します。90年代は文化の時代でありコミュニケーションが、そのキーワードといわれています。

月刊神戸っ子の新年会も、第14回神戸文学賞の受賞式と神戸っ子倶楽部の皆様やスポンサー各位にもご案内して、密なる交流の集いにと企画いたしましたので、ぜひ共ご参加下さい。

### 記

1. と き 1月23日(火)午後5:30受付、6時開催
1. ところ オリエンタルホテル(旧居留地京町)  
大ホール2F ☎ 331-8111
1. かいひ (又はチケット) ¥7,000  
(神戸っ子倶楽部会員) ¥6,000

### プログラム

1. 月刊神戸っ子新年メッセージ
1. 第14回神戸文学賞受賞式
1. ショートタイム 唄・古元万夕美／フルートチーム・エリオ
1. 南京町春節祭へのいざない(予定広東省大道芸 or 南京町獅子舞)
1. チャリティ初春福引大会

### 主 催

月刊神戸っ子・神戸っ子倶楽部・神戸百店会





★oh★  
タカラヅカ対談

# 今、大輪の花開く時

## 新春は爽やかに温かく



柴田 侑宏  
〈宝塚歌劇団・演出家〉



杜 けあき  
〈宝塚歌劇団・雪組〉



一路 真輝  
〈宝塚歌劇団・雪組〉

大成功を収めた昨年11月のニューヨーク公演。参加した生徒も一人ひとり、感激と感動を胸に新しい年を迎え、新たな意欲を燃やしている。

90年の幕開けは、雪組「天守に花匂い立つ」で始まる。1月1日から2月13日まで、主役・杜けあきさん、弟役・一路真輝さん、演出・柴田侑宏さんと、豪華な顔ぶれで新春の座談会が始った。

■カリンチョ（杜）感涙のセリフ

柴田 今回は江戸物でも趣きを変え、前は火消しの下町でしたが、山本周五郎の世界で言う武家物です。仙台が舞台なのは、仙台藩を思っていたら、ちょうどカリンチョの故郷が仙台なんだよね。

杜 そうなんです。聞いた時嬉しいうちより、そんないいいんでしょうか！ って感じでした。名前も加納で本名の狩野と似てて、



「みちのくの武士カノ」とセリフの度に感激しています。まだ日数が少ないですがもうどっぷり。

柴田 前に「花吹雪」で使った名前だけど、カリンチョの本名と全く同じにしたらあまりにあざといし、字を違えておいたんだ。ネーミングには一日かかるんですよ。真之介に対して次男の小次郎は、二枚目でイチロに合う名はこれしかないと思いつきましたね。二人の役柄は対称的だよな。

杜 私は、自由奔放な兄貴役。イチロは決められた道を歩く型にはまった弟役。普段とは逆ですが。

柴田 主役像は、作者の理想的男性像であることが望ましいと思っっているんです。極端な表現ですが、どちらも僕に無く求めるもので、役割は、二人のキャラクターを見て決めました（笑）。

杜 今までは役にのめり込むと胸が痛くなったりしたけど、今回は何もないのね、心の中に。



柴田 ストレートなのね。

杜 そう。気持ちいい。私は本根で生きているタイプで、下級生の頃先生に「生意氣だ」って言われましてけど(笑)今回は共感します。

一路 性格がそんなに違っているとは思いませんけど、とにかくカリンチョさんと兄弟ができるのが嬉しいですね。よく似てるって言われますし、双子をして欲しいと手紙が沢山来るんですよ。

杜 そうなのね。昔からイチロとは考えなくてもピッタリ合っちゃうのね。特にベルばらで恋人をし

て益々息が合ってきたし、本当に幼い時から一緒に育ってきたみたいに思えて来た(笑)。

柴田 僕は雪組やこの二人に密着して、嫌がられてるけど(笑)、男役一、二番として明確なイメージを持ち、二人はほぼ同時に出来上がっているね。作る側としては、楽な様でしんどい様で、頼もしくめんどくさい(笑)。でも、今二人とても良いよ。

■流れる風の色が違う

杜 先生の作品は、役柄と共に心

が動いてキュンとしたり、人の心を学びます。それとすごいと思うのは、セリフがスラスラ出て来ちゃう。自然なんです。覚えようと努力するのは「オハヨーございませう。遅くなりました」(笑)。

一路 私は大山花伝を、新人、地方、本公演でして、主な役を三つしましたが、

杜 ワー。主なの三つ、いいなア。一人で公演できちゃうじゃない(笑)。

一路 違う役をする度に、この役が一番大好きと思ってしまいま

▲ますます息が合ってきた杜さんと一路さん。大黒柱の柴田さんに、今度は双児の役もしたいね、と……



す。

柴田 宝塚も時代の特徴として、スラッとした二枚目だけでなく、立役っぽいものがあるから、いろんなことやって来て、しかもオスカルもできる事がイチロの強味になっていいのじゃないかな。

杜 ベルばらでは、雪組以外の人と演じて、同じセリフでも相手によってズシンと来たりへ全然違う。柴田 そうね。空気が違うから流れが変わってくるね。

杜 心にグサッと来る言葉が三人



杜 さん



柴田 さん



一路 さん

三様で、どの言葉にウエイトを置くかというそれぞれの解釈なのでしようね。自分が変わってゆけておもしろいと思いました。

一路 気持ちの入れ方が違い、新鮮な風がいっぱい吹いて、組のカラーの違いを感じました。

柴田 組のカラーというのは、トップの人間が作ってゆくから、今雪組は男役のカリンチョのキャラクターと技術で代表され、ガツンリした物があり、イチロがキチンと居て、組の芯は定着して安泰。ま、二人が居る限りは大丈夫と言っておきましょう。

杜 ウーうまい(笑)。

■新春は恋人に会いたくなる

杜 去年は、回りの人に成長させてもらい、私の人生の中で屈指の充実した年でした。だから終わっちゃうのが惜しくて。タイプの違い作品をさせてもらって恵まれてたなあと思います。イチロと組ませてもらった事も。居るから言うんですけど(笑)。私「男同志の友情」なんか、爽やかで気持ち良くて好きなんです。やってても楽しくって。鮎ちゃんとは、女役が黙っててもスツと添ってくれますし。三人が地に足つけて皆を引っばって行けたらなあ。

一路 私は去年は公演してるか練習か、忙がしかったけど、これ以

上の幸せは無いですよ。オスカルでカリンチョさんとバッチリ絡んで、悩みから抜け出たような感じがします。いつもカリンチョさんが横に居て安心感があり、支えてくれながら前に出してもらって、違う自分が見えて来ました。

柴田 二人共、種類の違う頭の良さを持っている女性なのね(笑)。カリンチョも自分の道をどう広げようかと考え、イチロも自分を大切に持って来て今開こうとしている。女性としても宝塚の二枚目としてもとても魅力がありますね。

杜 仕事が増える程、仕事も回りにも考える事が増えてきますが、今一番いい状態だね。だから今年はいい仕事をするという期待が持てます。

杜 ワー嬉しい。

柴田 僕はハッピーエンドは珍らしく、別れや死が多かったから。現代に通じる様なほのぼのした人間像や恋を描き、今年はより質の高い物を目指します。

杜 お正月公演、爽やかな作品で下級生も皆キラキラして燃えています。華やかに明るく、日本情緒たっぷりに濡れて、きつと彼に会いたくなる、いい恋愛をしたくなる、温い余韻です。ベルばらとは違った空気の「天守に花匂い立つ」を見に来て下さい。

(レストランカラベルにて)



弟役の一路真輝



新春は益々元氣杜けあき

## STAGE

### ●江戸城切絵

『天守に花匂い立つ』  
江戸・元禄末期、奥  
州仙台伊達六十二万  
石の一角を守る萩山城守、  
加納将監には二子がある。  
嫡子真之介(杜けあき)は  
太平の世の武士の生き方に  
疑問を持ち父との対立もし  
ばしばあった。腰元ゆき  
(鮎ゆうき)との恋を認め

## MESSAGE from TAKARAZUKA

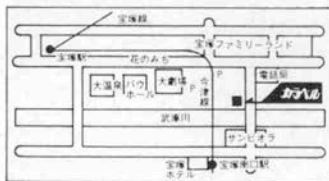


られず、ゆきが暇を出され  
た事から溝は益々深まる。  
一方弟の小次郎(一路真輝)  
は、才能に恵まれ伊達侯に  
見込まれ仙台城の役職に就  
き、渡の城の時姫という美  
しい許婚がいる。  
仙台藩は日光東照宮の修  
築に続いて日光街道修復を  
命じられ、その普請奉行に  
小次郎を抜擢する。嵐によ  
って工事は遅れ將軍の参詣  
日が繰り上がり小次郎は焦  
る。仙台上に金策を依頼する  
が、幕府の隠密によって狙  
われることを知り、恋人ゆ  
きの失跡で自身混乱の真之  
介であったが、仲間と共に  
雨の中、馬を飛ばしていく  
のである。  
★大劇場雪組公演・江戸切絵「天守  
に花匂い立つ」柴田侑宏作・演出  
に花匂い立つ/13。特別出演(専科)  
鈴鹿順、高ひづる、藤京子。S36  
00円、A2500円、B1600  
円、C700円。

## 宝塚歌劇 座席券セットのホテル

### 宝塚レディスイ

●ご宿泊(朝食付) お一様¥5,500  
<税別> 全室バス・TV付



RESTAURANT  
**カペル**  
欧風料理  
宝塚レディスイ1F

阪急宝塚南口駅、徒歩3分・阪急宝塚駅、徒歩5分  
〒665 宝塚市武庫川町47-1 ☎0797(81)0001



麻路 さき

★星組バウホール公演「太陽に背を  
向けて」石田昌也作・演出。1/14  
1/28。主な出演千珠、麻路さ  
き。出雲。座席券3,600円

## BOW HALL

●青春の輝き「ブライ  
デライト・タイム」  
若者達の愛を明るく楽し  
いショー、華やかな歌と踊  
りで、輝かしく喜びに満ち  
た時をお届けする。  
●ハードボイルド  
「太陽に背を向けて」  
70年代のNYを舞台  
に、ベトナム戦争帰りの  
の敏腕刑事が事件に巻  
き込まれ、殺された妻  
の死の真相を究明してい  
く。

## NEWS

●友の会へのお誘い  
素敵な夢を贈り続け  
る宝塚の舞台。そのレ  
ディリーマーの世界  
への架け橋、宝塚友の会に  
あなたも入りませんか。  
A会員/六カ月 三千三百  
円/毎月「歌劇」を郵送。  
B会員/六カ月 三千三百  
円/毎月「宝塚グラフ」を  
郵送。  
普通会員/一年 二千二百  
円/毎月「宝塚だより」を  
郵送。  
その他、友の会行事への  
参加、座席予約などの特典  
もあります。  
花の道にある友の会サロ  
ンには宝塚の情報がいつば  
い。気軽にお気軽に下さい。  
お問合わせ・申込みは  
宝塚友の会サロン 〒665 宝  
塚市栄町1の1の57 ☎07  
97 856801 郵便振替  
口座神戸9-13286



# 謹賀新年

1990



— 北 欧 の 銘 菓 —  
**2-ハイム・コンフェクト**

コウベ徹底ガイド

## 1990 神戸&神戸

ハンディタイプA5版変形



### 神戸のエスプリを徹底ガイド

神戸のガイドブックはたくさんあるけれど、これは神戸が大好きな神戸っ子がつくった手づくりの本。素敵に何かにめぐり逢えそうな神戸の風景が、この一冊にぎゅっと詰まっています。

### 神戸の魅力を全国にアピール

(タウンガイド)

三宮／ポートアイランド／北野／トアロード・大丸前／元町／六甲・御影・岡本／神戸・兵庫・長田／須磨・舞子・垂水・明石／芦屋・西宮・甲子園／有馬／六甲／宝塚

**1月上旬発売 500円(税込)**

やさしい春の色が、舞いおりました。  
美しさへの予感……。



serizawa

KOBE

本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL.078-331-1695

●レディス●

本店・さんプラザ店・センター街店・さんちか店・P-4ショップ

●メンズ●

メンズセリザワ

KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI



お酒落のための特典いろいろ。  
1枚のカードから

セリザワカード

BONNE ANNÉE ! 1990

本年もなにとぞよろしくおねがいします。





い。 )  
 た  
 き  
 生  
 に、  
 劇

# WORLD RECEPTION

ワールドレセプション

Gian Versace

MISSONI

valentino garavani

SH

errenno

GIAN MARCO VENTURI

STUDIO

0001

FERRE

■本館3F


(ワールドレセプション)

都会的なデザインセンスをいかんなく発揮し、洗練され、完成度の高い作品を発表しているジャン・マルコ・ヴェントゥーリ。彼の服はいつも時代の空気にあふれています。

GIAN MARCO VENTURI  
 コート(毛100%) ..... 180,000円  
 レザースカート ..... 100,000円  
 タートル(アクリル70%・毛30%)  
 ..... 38,000円

記載表示価格は  
 消費税抜きの価格でございます。

 **SOGO**  
 SANNOMIYA KOBE

A person with short blonde hair, wearing dark sunglasses and a long blue coat with a fur collar and gloves, stands against a dramatic sunset background. The person's right hand is raised near their face. To the right, several lines of Japanese text are arranged diagonally on black rectangular backgrounds.

夢あり、恋あり、笑いあいの毎日で、  
主人公を演じているわたし。  
自分のスタンスで、自分のスタイルで  
いまの時代を着こなしている。  
それが一番、素直だと思っから。  
わたしは、わたしらしく生きていきたい。





ハイカラ神戸専門店物語  
シリーズII

商品は語る

Part 2

柴田音吉洋服店

(紳士服)

"THE CREATION OF  
BEST QUALITY"

柴田音吉洋服店は、明治16年、初代柴田音吉が、ミナト神戸の文明開化の中、手づくりの風格ある日本最初の紳士服オーダーメイド専門店として元町に誕生。

以来、100年を越える歴史を築き、今もなお、業界のバイオニアとして、発展をつづけている。

その柴田音吉洋服店を支えてきたのが、服作り20年、30年といったベテランスタッフ。その1人、宇野隆さんは「着ごちを重視したソフトな縫製で1点1点にこだわった服作りを心がけています」と語る。ベストクオリティ。柴田音吉洋服店の洋服にはその名がふさわしい。



上／生地を傷つけないように、1点1点まごころをこめて縫製される。  
下／お客様の好みの多様化にあわせた服づくり。裁断技術にも工夫をこらす。

’90 謹賀新年

KOBE EXCELLENT SHOP

★伝わる真ごころ最高の風格

①柴田音吉洋服店

神戸市中央区元町通4丁目2-22 ☎341-0693

★婦人帽子

maxim  
マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13 ☎331-6711

★選りすぐった一点を…

Sanohe

神戸市中央区元町通2丁目5-7 ☎331-4707

★欧風家具・設計・創作

永田良介商店

神戸市中央区三宮町3丁目1-4 ☎391-3737～9

★舶来品ブティック

マスターニュートン

神戸市中央区北長狭通3丁目12-14 ☎331-1818

★本格派の人々に愛される

ヨシオカ

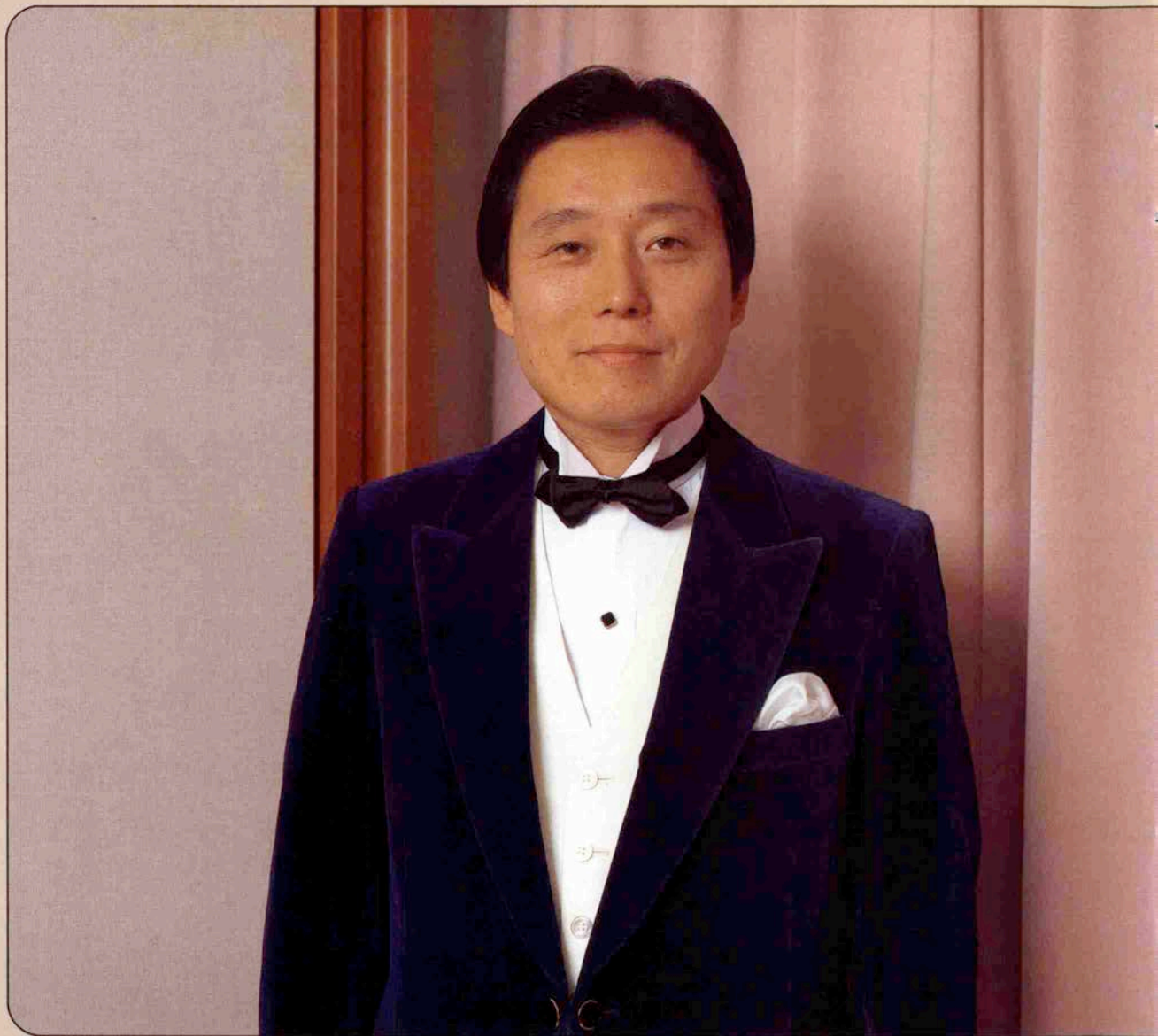
神戸市中央区三宮町3丁目1-9 ☎331-5190

★よろず御機衣縫上處

神戸シャリ

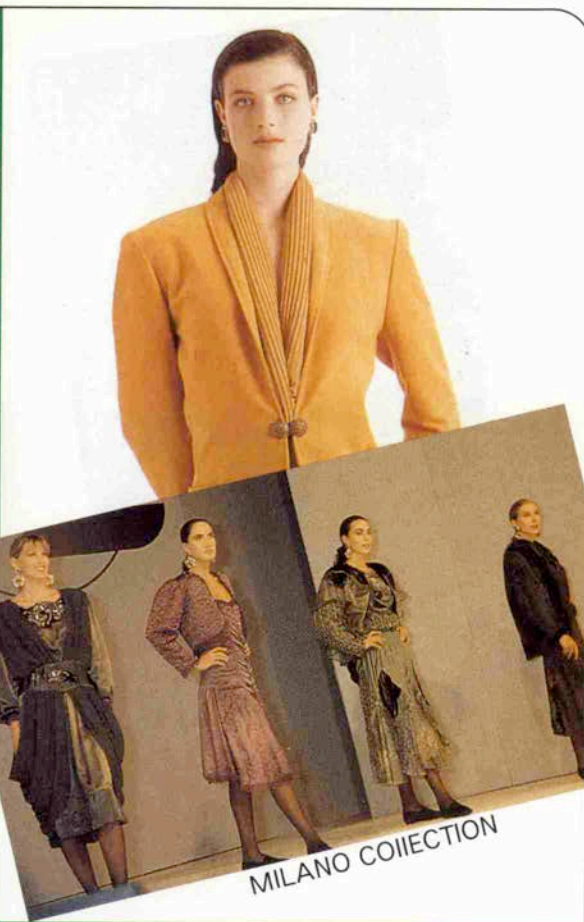
神戸市中央区三宮町3丁目1-6 ☎331-2168

※このシリーズは上記の専門店の提供によるものです。



ミッドナイトブルーのドーメル・ベルベットによるタキシード。写真は東京タキシード会に出席した柴田啓嗣副社長





1990

A HAPPY NEW YEAR!!

1月4日から 新春 初売セール開催!!



SINCE 1959



最高の品質と信用を誇る毛皮専門店

**ニ一毛皮店**

インポートブティック



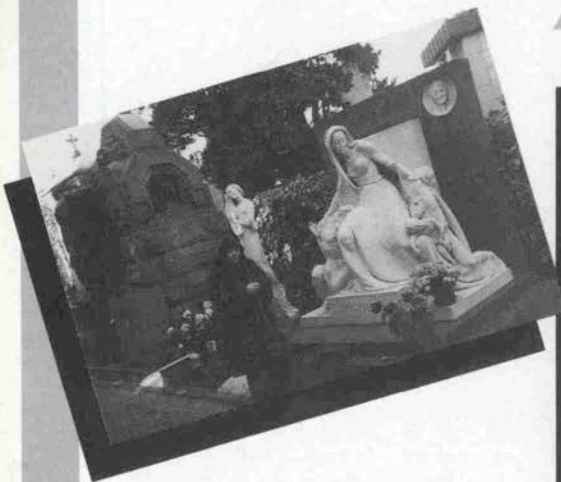
神戸市中央区御幸通8-1-6

神戸国際会館1F

TEL 078・221・3327(代)

## MILANO AIR MAIL

大島 智恵



12月のMILANOは、とっても寒くて毛皮なしではいられません。モンタナポレオーネ通りやスピガ通りでは、フレアがたっぷりのミンクやフォックスのロングコートを着たステキなマダムが街にとっても映えます。

今日はフルレングマのロシアンセーブルを着たマダムとすれ違いました。思わずふり返って見てしまいました。私と同じ位の背丈だから158cm位でしょうか、なのに裾まであるコートを堂々と背スジをピンと伸ばして颯爽と歩いています。毛皮の着こなしに身長もあまり関係ないみたい。最甲の毛皮を堂々と着こなす気持ちが大切なんだと思いました。5時になったらすっかり街が暗くなるので寒い/暗い/で旅先ではなんだかとても心淋しい気分になりますが、いたる通りでクリスマスのイルミネーションが暗い街に輝いて、私をなぐさめてくれます。通りによって皆違ったデザインのシンプルなイルミネーションで個性を発揮して

ます。あり所では星だったりサンタだったり。モンタナポレオーネ通りはシンプルに縦に流れてるだけですが、MILANOならではの洗練されたセンスを感じてしまいます。ここは日本や香港違ってイルミネーションの色が決められているのですがどの通りもデザインで個性を出してる所がイタリアならではの。今、ゴルバチョフが来ているのでドゥオモに行く道は交通規制がされて大変です。私も一目見ようとヤジ馬にまざっています。こちらでは、ゴルバチョフは結構人気があるんですよ。そんな訳で来シーズンはロシアンファッションがミラノコレクションに登場するかも知れませんね。政治とファッションも無関係ではありません。

今夜は0度、震えあがっています。日本の温泉がひたすら恋しい夜です。

CIAO! From MILANO

CHIE